

授業科目名	教育の基礎と実践 A, B	担当形態	単独		
		開講学期	春・秋		
担当教員	南 泰代	単位	2	年次	2

＝授業のテーマ及び到達目標＝

本授業の目的は、教育の基礎理論と教育理念を理解し、教育とは何かという事を自分自身で考え、身に着けることです。どのようにすれば生徒に伝えられるか、生徒のためになるのかを積極的に取り組むことを目指します。

＝履修の条件と学習の方法＝

学習態度としては、授業を聞くという姿勢ではなく、自分から参加するというアクティブラーニング方式をとる。①教育の基礎的概念を理解する。②教育の歴史を理解する。③実際の教育を理解するということを念頭に置いて積極的に参加することが必要となります。

＝授業の概要＝

教育とは何か、その基本的な理解を深めつつ、生徒の心を理解するにはどのようにすれば良いか。教師の役割とは何か、現代の生徒の置かれている社会状況・環境に目を向け授業を展開する。教育の意味を理解し、教師としての責任を構築する。

＝授業計画＝

- 1 ガイダンス：本科目に関する目標・内容・計画（教育とは何か）
- 2 教育学：教育の意義と目的（人間とは何か）
- 3 教育の要素：家庭・教員の関わりと役割
- 4 教育の歴史：戦後の教育の歴史（日本国憲法）（教育基本法）（子どもの権利条約）
- 5 近代教育制度：学習指導要領、学習指導案
- 6 現代社会：現代社会での教育の在り方、地域社会との関連
- 7 授業実践：生徒への対応
- 8 授業実践：生徒からの対応
- 9 教育の思想：諸外国の教育の思想（ロック、ルソー、ペスタロッチなど）
- 10 教育の思想：諸外国の教育の思想（フレーベル、デューイ、モンテッソーリなど）

11 教育の思想：日本の教育の思想（貝原益軒、森有礼、福沢諭吉、倉橋健三など）

12 授業実践：新任教師の授業づくり

13 授業研究：現代の教育の課題（不登校、いじめ、虐待）

14 授業研究：教師の役割（生きる力）

15 全体総括：教育実践の在り方

定期試験

=テキスト（必携）=

特になし。毎時間の授業プリントを配布します。

=参考書・参考資料（必携）=

新聞。

=成績評価の方法と評価の基準=

毎回の授業総括として、質問紙を配布します。定期試験 60%、授業での積極的な発表 40%で評価します。

=その他=

教師になるという自覚を持つこと。